

「自立支援」を基本理念とする 「地域包括ケアシステム」 ～「桑名市地域包括ケア計画」を例として～

－ 第41回「未来をつくるkaigoカフェ」 －



本物力こそ桑名力

桑名ブランドキャッチフレーズ
ロゴマーク

他ではまねできない、桑名ならではの
たくさんの“本物”を見つけ出し、
磨き上げ、より素晴らしいものにしていく
力を「本物力」と名付けました。
木曾三川が流れ込む桑名を
桑名城の形状であった扇の要と見立てた
イメージ等を桑名のイニシャルである
「K」のマークで表現しました。

平成28年7月14日
日本年金機構本部年金給付部長
(元桑名市副市長(特命))
田 中 謙 一

地域に出向くことを心掛けました

(平成25年8月～平成27年3月)

(単位:件)

	聴講・視察	講演・対話	合計
市内	129	146	275
市外	62	16	78
合計	191	162	353

【参考】 佐藤伸彦「ナラティブホームの物語」 一抄一

「学」というものにできることは、「本当にそうなの？」「そういう問いかけでいいの？」
「それは問題とする基本からそれているのでは？」と常に一歩下がって、現場の人間に
石を投げ続けることではないだろうか。「うるさい、正論ばかり」と言われながらも、
あえて何かを言い続けていく。そういう厳しい態度が「学問」なのではないか。誰にでも
できるものではない。逆に、現場は「それは、実はこういうことでないの？」という
問いかけに対して、それが厳しい指摘であったとしても一度は向き合って考える姿勢が
必要なのではないか。その両方の立場を理解することが、この当事者と非当事者の
問題を解決する方法ではないかと思う。

(略)

医療・介護の現場でも、「人には尊厳をもって接しなさい」というような会議室的抽象論を
声高に論じる人もいる。「現場はそんなきれいごとでは済まないのよ」と言って耳を貸さな
い人もいる。どちらの意見も必要なのである。そのバランスを取るものが必要である。

自分を棚に上げた学者と、自分だけは現場で患者さんのために働いていると
粹がっているスタッフと、そのバランスをどう取るか、医療・介護の問題で絶対に
抜け落ちてはいけない視点であると思う。

「桑名市地域包括ケア計画」に込められた思い

- 「桑名市地域包括ケア計画」は、
 - ① 介護保険の被保険者である高齢者及びその家族
 - ② 介護保険制度の中でサービスを提供する医療機関及び介護事業所のほか、
 - ① 介護保険の保険者である桑名市の職員
 - ② その委託を受けて事業を運営する準公的機関である桑名市地域包括支援センターの職員
 - ③ 地域福祉を推進する準公的団体である桑名市社会福祉協議会の職員も含め、基本的な方針を提示してその共有を働き掛ける「規範的統合」を推進するための重要なツール。

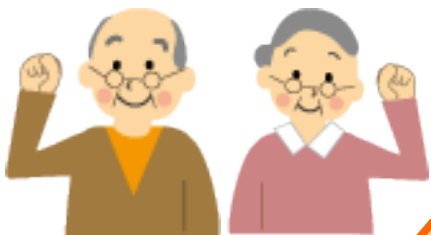


- 「桑名市地域包括ケア計画」については、
「地域包括ケアシステム」の構築に関する「テキストブック」となるよう、
 - ① 厚生労働省が全国に提示した基本的な枠組みの趣旨及び内容
 - ② 桑名市が地域の実情に応じて展開する具体的な取組みの趣旨及び内容
 - ③ 政策の根拠となるデータ及び文書等を総合的に記載。

「桑名市地域包括ケア計画」の基本理念

高齢者の尊厳保持・自立支援

(介護保険法第1条)



セルフマネジメント(「養生」)

健康の保持増進

(介護保険法第4条第1項)

能力の維持向上

介護予防に資するサービスの提供

(介護保険法第2条第2項及び第5条第3項)

在宅生活の限界点を高めるサービスの提供

(介護保険法第2条第4項及び第5条第3項)

一般高齢者

要支援者

要介護者

在宅サービス

施設サービス

身近な地域での多様な資源の「見える化」・創出

『介護予防・日常生活支援総合事業』
『生活支援体制整備事業』



多職種協働によるケアマネジメントの充実

『地域ケア会議』
『在宅医療・介護連携推進事業』
『認知症施策推進事業』



施設機能の地域展開

『従来の在宅サービスと異なる内容の新しい在宅サービス』



【参考】介護予防に資するケアマネジメントの事例のイメージ

陥りがちなケアマネジメント

「独りで入浴できない」



「清潔を保持したい」



「通所介護で
入浴する」



いつまでも
独りで入浴できない

できないことを代わりにするケア

目指すべきケアマネジメント

「なぜ独りで入浴できないのか」



「左片麻痺によるバランス不安定で
浴槽をまたげない」



「通所介護で足を
持ち上げる動作を指導して
浴槽をまたげるようにする」



独りで
入浴できるようになる

できないことをできるようにするケア

多職種協働によるケアマネジメントの充実

介護保険を『卒業』して地域活動に『デビュー』する



「セルフマネジメント(養生)」

高齢者
(介護保険の被保険者)
及びその家族



住み慣れた環境で生き生きと暮らし続ける

介護予防に資するケアマネジメント

在宅生活の限界点を高めるケアマネジメント

一般高齢者 → 要支援者 → 要介護者

在宅サービス → 施設サービス

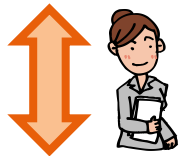
「地域ケア会議」の一類型としての「地域生活応援会議」

多職種協働での支援

「サービス担当者会議」

介護支援専門員
(ケアマネージャー)

連携



サービス担当者
(医療、介護、予防、日常生活支援等)

保健師

社会福祉士

主任介護支援専門員

「生活支援コーディネーター
(地域支え合い推進員)」

薬剤師等



管理栄養士

理学療法士

作業療法士

言語聴覚士

歯科衛生士

「地域包括支援センター長会議」等

桑名市地域包括支援センター
(桑名市の委託を受けた準公的機関)



連携

桑名市
(介護保険の保険者)

【参考1-1】「地域生活応援会議」(平成27年6月18日)の様様(1)

Aチーム



管理栄養士

言語聴覚士

理学療法士

保健師
(中央地域
包括支援
センター長)

社会福祉士

薬剤師

作業療法士

介護支援専門員協会

各地域包括支援センター

保健師

作業療法士

各地域包括支援センター

生活支援コーディネーター

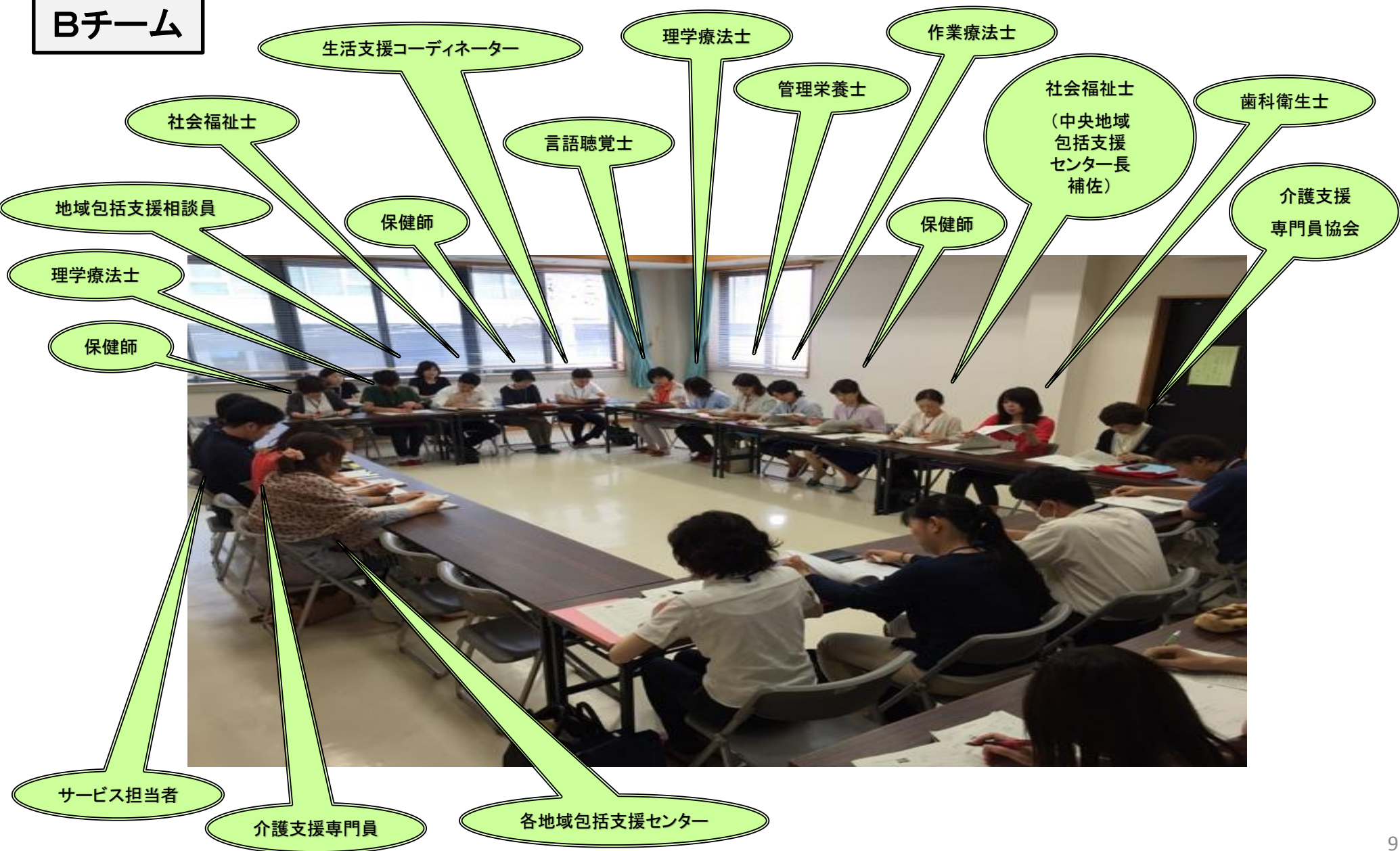
各地域包括支援センター

介護支援専門員

サービス担当者

【参考1-2】「地域生活応援会議」(平成27年6月18日)の様様(2)

Bチーム



【参考2】「地域生活応援会議」に参加する皆さんに呼び掛けたいこと

- ① 多職種の視点を積極的に取り入れ、チームでケアマネジメントの「カイゼン」を目指しましょう。



「地域生活応援会議」に提出される介護予防サービス計画等は、「サービス担当者会議」を経ない素案です。

- ② 専門職に求められる専門性を発揮し、「エビデンス」に基づいて予後を予測し、「セルフマネジメント(養生)」を働き掛け、「生活機能の向上」の限界点を追求しましょう。



「データヘルス」が求められます。
介護保険の「卒業」は、介護保険の「卒業」先を明確にしない限り、実現されません。

- ③ ケアマネジメントを通じ、ニーズを掘り起こしてサービスを育成しましょう。



新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」に盛り込まれる短期集中予防サービスのほか、通所介護と組み合わせられる訪問介護、認知症対応型共同生活介護に先立つ小規模多機能型居宅介護又は認知症対応型通所介護等の普及が期待されます。

- ④ サービスを利用する者のほか、費用を負担する者に対しても、説明責任を果たすため、サービスの提供方針を具体的に明らかにしましょう。



サービスの提供には、サービスを利用する者によって負担される保険料及び税のほか、その他の者によって負担される保険料及び税も、投入されます。

- ⑤ 現場での創意工夫に基づく成果の「見える化」を図りましょう。



今後、介護保険の「卒業」等に関する実績を公表する予定です。

【参考3】「地域生活応援会議」の実績(平成26年10月15日～平成28年3月31日)

(単位:件)

	「地域生活応援会議」開催 (延件数)	うち 1回目(実件数)	うち 2回目以降(延件数)
事 例	285	203	82
うち 生活機能の向上に 至ったもの	78	60	18
うち 介護保険の 「卒業」に 至ったもの	30	26	4

(注) 生活機能の向上に至った事例かどうかは、「生活機能評価(アセスメント)」で事前と事後とを比較することにより、判断される。

<出典> 桑名市保健福祉部地域介護課中央地域包括支援センター

身近な地域での多様な資源の「見える化」・創出

訪問

桑名市 (専門職等)
桑名市地域包括支援センター
桑名市社会福祉協議会

「見える化」
・創出

専門職が専門的な
サービスの提供に
集中する

短期集中予防サービス
(専門職)

心身機能

保健師、看護師、管理栄養士、
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、
歯科衛生士、社会福祉士、介護福祉士、
訪問介護員等

訪問介護
(専門職)

通所介護
(専門職)

「サポーター」(地域住民)



高齢者サポーター、民生委員、食生活改善推進員、
シルバー人材センター、ボランティアグループ、民間事業者等

生活機能の向上

(運動、栄養、口腔、認知等)

高齢者が介護保険を
『卒業』して地域活動に
『デビュー』する

参加

高齢者

活動

参加

「通いの場」(地域住民)



高齢者サポーター、健康推進員、地区社会福祉協議会、
自治会、老人クラブ、ボランティアグループ、民間事業者等

桑名市 (専門職等)
桑名市地域包括支援センター
桑名市社会福祉協議会

「見える化」
・創出

通所

桑名市の「介護予防・日常生活支援総合事業」

「サポーター」の「見える化」・創出

「えぷろんサービス」

シルバー人材センターの会員が訪問による掃除、買物、外出支援、調理、洗濯、ゴミ出し、話し相手等を提供。

「おいしく食べよう訪問」

食生活改善推進員が訪問による食事相談、献立相談、調理相談、体重測定等を提供。

「『通いの場』応援隊」

ボランティアが日常生活圏域の範囲内で「シルバーサロン」又は「健康・ケア教室」の利用のための移動支援を提供。

「短期集中予防サービス」の創設

「栄養いきいき訪問」

管理栄養士が訪問栄養食事指導を提供。

「お口いきいき訪問」

歯科衛生士が訪問口腔ケアを提供。

「くらしいきいき教室」

リハビリテーション専門職がアセスメント及びモニタリングに関与しながら、医療・介護専門職等が通所による機能回復訓練等と訪問による生活環境調整等とを組み合わせて一体的に提供。

従前の介護予防訪問介護に相当する訪問型サービス
(平成27～29年度)

従前の介護予防通所介護に相当する通所型サービス
(平成27～29年度)

「通いの場」の「見える化」・創出

「シルバーサロン」

「宅老所」等において、地域住民が相互に交流する機会を提供。

「健康・ケア教室」

事業所において、地域交流スペース等を活用するとともに、医療・介護専門職等とボランティアとで協働しながら、介護予防教室を開催するなど、地域住民が相互に交流する機会を提供。

「健康・ケアアドバイザー」

地域住民に開放される「通いの場」を対象として、地域住民を主体として運営された実績に応じ、リハビリテーション専門職等を派遣。

「地域生活応援会議」を活用した「介護予防ケアマネジメント」の充実

- 桑名市地域包括支援センターにおいて、桑名市と一体になって、要介護・要支援認定又は「基本チェックリスト」該当性判定の申請及びそれに関する相談を受付。
- 桑名市地域包括支援センターにおいて、桑名市と一体となって、「地域生活応援会議」を活用して「介護予防ケアマネジメント」を実施。

「エビデンス」に基づく健康増進事業と一体的な介護予防事業の展開

- 「桑名市日常生活圏域ニーズ調査『いきいき・くわな』」に基づくデータ等を活用。
- 「桑名ふれあいトーク」、「桑名いきいき体操自主グループ活動スタート応援事業」等を実施。
- 「高齢者サポーター養成講座」、「桑名いきいき体操サポーター養成講座」等を開催。
- 「桑名市介護支援ボランティア制度」を実施。

【参考】「くらしいきいき教室」のイメージ

地域生活応援会議



22,000円/月・人

21,000円/月・人

1～3月目

4～6月目

注 利用者負担は、サービス単価の1割。

地域生活応援会議

通所介護等の
介護保険を利用



介護予防通所介護
(要支援1)
16,914円/月・人

介護保険を「卒業」
地域活動に「デビュー」



「元気アップ
交付金」



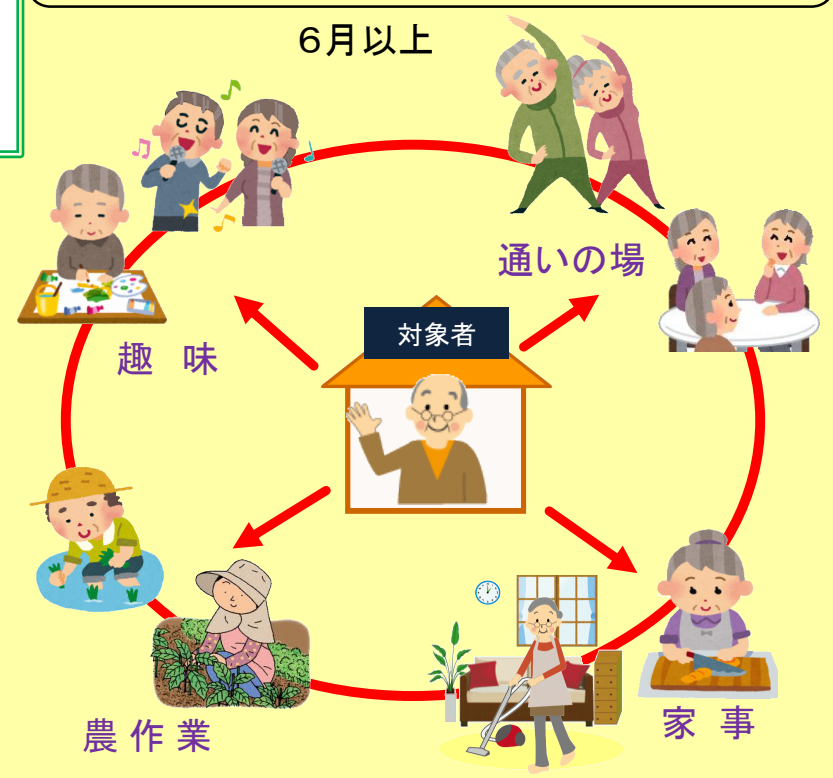
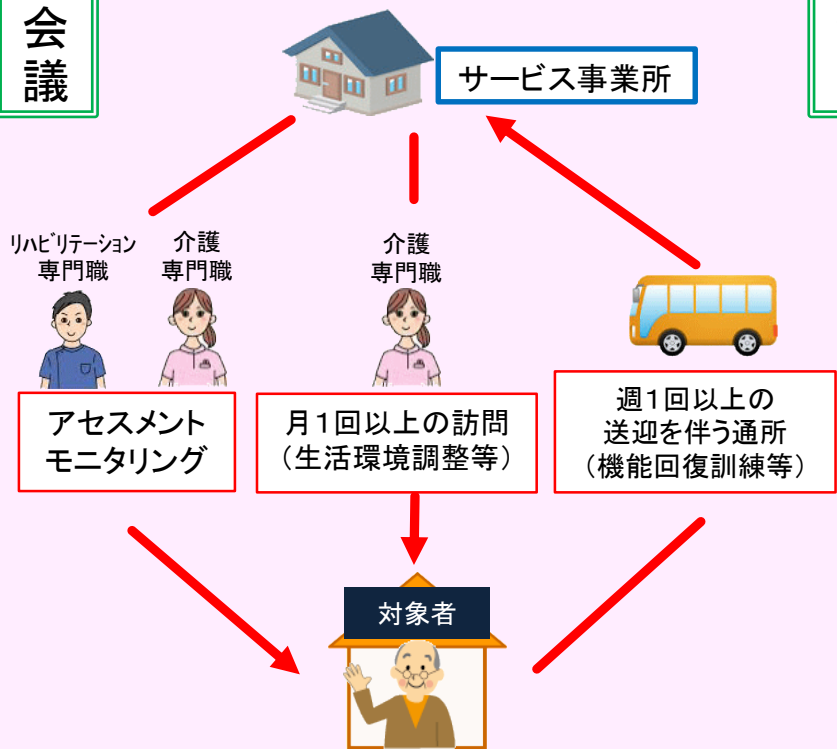
サービス事業所
18,000円



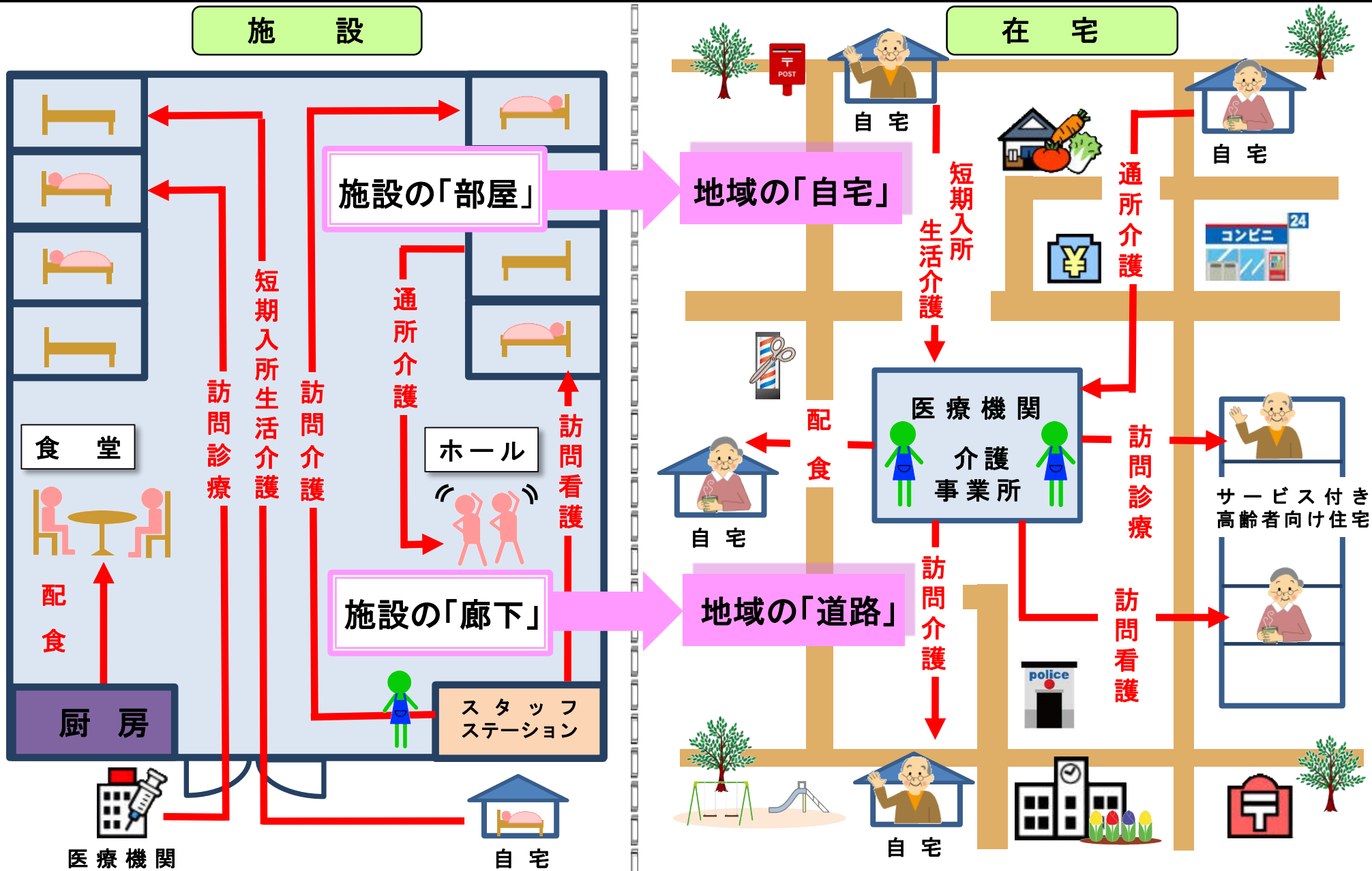
対象者
2,000円



「介護予防
ケアマネジメント」の
実施機関
3,000円



施設機能の地域展開



「桑名」を紹介します



「多度峡天然プール」

お伊勢参らばお多度もかけよ、
お多度かけねば片参り
「多度大社」



濃尾平野の絶景
「多度山」



高速バスで名古屋まで
約50分！
「大山田ニュータウン」



日本一やかましい祭
「桑名 右取祭」



人馬一体となって
絶壁を駆け上がる
「多度上げ馬神事」



桑名

名古屋駅より、JR関西本線・近鉄名古屋線で約25分、
東名阪自動車道経由で約30分。
中部国際空港より、伊勢湾岸道経由で約1時間。

全国で3路線のみのナローゲージ
「三岐鉄道北勢線」



全国7番目の近代的上水道
「諸戸水道」



鹿鳴館で有名なコンドルの設計による
山林王・諸戸家の邸宅
「大華苑」

「なばなの里」

水郷のまちならではの
水中スターマイン
「桑名水郷花火大会」



全国アミューズメントパーク
入場者数第3位
「ナガシマリゾート」



「その手は桑名の焼き蛤」



旧東海道伊勢国一の鳥居
「七里の渡跡」



旧東海道42番目の
宿場町桑名の銘菓
「安永餅」

